

## 競技上のご注意とお知らせ

### <<トレイルランニング競技規則>>

- 主催者によって定められた山岳コースにて、個人単位のタイムレース方式とする。所要時間の短い選手が上位となる。
- クラス毎に制限時間を設ける。また一部のクラスには関門閉鎖時刻を設ける。選手や各チームの走者は制限時間までにフィニッシュおよび関門を通過しなければならない。制限時間までに通過できなかった場合は**失格（途中棄権）**となり、係員の指示に従わなければならない。
- 競技中、各選手は常に下記の装備品（**必携品**）を携帯しなければならない。
  - ①Ecard（電子計測器、スタート前チェックで渡します）、②地図（配布物に含まれています）、③ホイッスル、④熊鈴、⑤雨具、⑥携帯電話（参加同意書に番号を記載したもの）、⑦ライト（予備電池は推奨） ※各クラスの必携品は以下の表に示す。（●は必携品、○は推奨品）

クラス	①Ecard	②地図	③ホイッスル	④熊鈴	⑤雨具		⑥携帯電話	⑦ライト
					上	下		
64km	●	●	●	●	●	○	●	●
16km	●	●	●	●	●	○	●	
4km	●							
キッズ	●							

- スタート前チェックおよびフィニッシュ後、またレース中であっても抜き打ちで**必携品の確認**を行う。係員から提示を求められた場合は速やかに従わなければならない。**必携品**に不備がある場合は**失格**となる。
- ストック（ポール）や杖の使用を許可する。
- 主催者は一部のクラスを除き**給水所を設けない**。ただし自身で準備をして（デポジットして）ルール中に補給することは、ゴミを残さないことを条件に制限はしない。
- 選手は、主催者によって指定されたコースに従って走行しなければならない。コースは**青**のストリーマーおよび、方向指示看板によって表示されている。また主催者側が競技運営上のチェックとして制限を設けている場合は、それに従わなければならない。
- 遭難信号を聞いた競技者は、競技を中断し、必ず救助活動を行わなければならない。これらの救助活動中に発生する競技規則違反は罰則として競技者に課せられない。
- 競技者が棄権を希望する場合には、近くの係員にその旨を報告し、Ecardを提出すること。
- 競技規則に違反したり、係員の指示に従わなかったりした競技者は失格となることがある。
- 競技者が自分自身・あるいは第三者に与えた損害・損失等について、主催者は一切その責任を負わない。

### <<ローカルルール>>

- 今回のコースは**左側通行**とする。競技者どうしが交差するポイントでは、特別な理由がない限り左側通行を基本とする（危険回避行動等ではその限りではない）。前走者を追い抜く場合は、事前に声をかけ、**右側から追い抜くこと**を基本とする。声をかけられた競技者は、左側によけることを基本とする。
- タイム計時の方法はEMIT社製Ecardを使用する。また各コースの通過証明もEcardで行う。タイムの計測および各チェックポイントの通過確認は**選手の自己責任**で行う。Ecardでタイムおよび通過確認ができない場合は、参考タイムまたは失格となることもある。なお競技中にEcardを紛失した場合は失格となる。

クラス	64km	16km	4km	キッズ
通過確認のための チェックポイント数	40	10	1	1

- 64kmクラスは16kmコースを4周するため、同じチェックポイントを複数回チェックすることとなる。
- 64kmクラスは周回コースのため、会場（スタート/フィニッシュエリア）に戻ってきた際には周回確認用のチェックポイントをチェックすることとする。
- 今回、各チェックポイントは、すべて**1個のみ設置**されている。

## <<ロゲイニング競技規則>>

●コース上のチェックポイントを指定された時間内に見つけることにより得点が与えられる。得点はチェックポイントへの到達の難易度により異なる。チェックポイントは任意の順番にまわることができる。より多くの得点を獲得したチーム、もしくは同点の場合にはより早くフィニッシュしたチームが上位となる。

※「コース」とは、ロゲイニング競技時間中にチームで移動する場所全てを指す。ただし、主催者により指定された競技外地区やアクセス道路を除く。

●コース上に持ち込むことのできるナビゲーション用具は、競技地図、方位磁石および時計である。本大会ではこれら以外のナビゲーション用具としてGPS受信機、万歩計、高度計をコース上に持ち込むことを許可する。競技地図に示される情報以外の追加情報のある地図の持ち込みは許可しない。

●競技中、各参加者は常に下記の3つの装備品を携帯（**必携品**）しなければならない。

①ホイッスル、②熊鈴、③参加同意書に電話番号を記載した携帯電話（チームで最低1台）

●参加者は自力で移動しなければならない。動力の付いた移動手段や、自転車、カヌー、馬などを利用した移動は許可しない。

●コース上では、チームの構成員は、互いに声の聞こえる範囲内で行動しなければならない。この点について主催者あるいは他チームから確認された場合には実証しなければならない。

●チームは他人から助力、協力を受けてはならない。また、故意に他チームに続いてはならない。

●チームで使用する目的で、競技前にコース上に食料や用具を置いてはならない。また、競技中に全ての食料や用具をコース上で捨ててはならない。

●主催者は、コース上に給水所、給食所などは設けない。本大会では参加者はコース上にある公衆用の販売（売店、自動販売機など）は利用をしても良い。ただしゴミは捨ててはならない。

●参加者は、故意にチェックポイントなど主催者によってコースに設置された設備に危害を加えてはならない。

●各チェックポイントの通過証明はEMIT社製Ecardを使用する。競技中にEcardを紛失した場合は失格となる。

●参加者は農地や植林地、主催者により指定された立入禁止区域を横断してはならない。本大会では競技地図に記載された道路、道、小道、小径以外は通行してはならない。競技中は交通規則を遵守しなければならない。

## <<EMIT社製Ecard>>

**※スタート周辺に見本があります。必ず確認をしてください。**

※Ecardの使い方説明動画（Youtubeです）→→  
<https://youtu.be/zKx7BoeoTfk>→→



●新型コロナウイルスの対策に関して、**屋外の競技中における競技者のマスク着用に関しては、競技者の自己判断とし、主催者はマスクの着用を強制しない。**

## <<マナー>>

●競技者はゴミを捨ててはならない。

●競技者は競技会場で火を扱ってはならない。

●競技者はコース上でタバコを吸ってはならない。

●競技者は植物あるいは動物の生態系を過度に破損・妨害してはならない。

## <<競技の中断または中止判断基準>>

●下記の理由により、主催者が大会の開催、継続が困難と判断した場合、大会を中断または中止します。

(1) 気象警報：羊蹄山麓に大雨、洪水、暴風警報のいずれかが発令された場合

(2) 公的機関から中止要請がある場合

(3) 気象条件や他の条件により、主催者が大会の開催、継続が困難であると判断した場合

・雷が近いとき

・崖崩れ、落石、暴風、倒木など、競技者とスタッフの安全を確保できないとき

・荒天下などで競技者の通過によって自然環境を損なう可能性があるとき

・その他、主催者が中止すべきだと判断したとき

●大会の中止・中断の判断は、大会公式サイトなどで発表します。